

ネイティブラビットクレアチンホスホキナーゼ

Cat. No. NATE-0138

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 クレアチンキナーゼは、間欠的に高く□動するエネルギー要求を持つ細胞のエネルギー代謝に

おいて重要な役割を果たします。このような細胞の例には、心筋や骨格筋細胞、脳や網膜の神□組織が含まれます。この酵素は、ATPを生成するために、リン酸クレアチンからADPへのリン酸基の可逆的な移動を触媒します。1 このタンパク質の分子量は約80 kDaであることがわかっています。これは、各サブユニットの分子量が40 kDa ± 2000の2つのサブユニットで構

成されています。□いサブユニットは、より多くの量で存在します。

用途 分子量: ~81 kDa クレアチンホスホキナーゼは、主に骨格筋由来のホモダイマー(MM)で構

成される二量体です。CKは心筋において特にヘテロダイマー(MB)としても存在します。脳 組織由来のCKは、主に脳由来のホモダイマー(BB)で構成されています。M鎖とB鎖のアミノ

酸配列は約80%の相同性があります。配列から、M鎖の分子量は43,112です。

別名 EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK;

クレアチンキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi;

MiMi-CK; 9001-15-4

製品情報

種 ウサギ

由来 ウサギの筋肉

形態 塩不使用、凍結乾燥粉末。

EC番号 EC 2.7.3.2

*CAS*登□番号 9001-15-4

活性 > 150 ユニット/mg タンパク質

最適pH 前向き反□のpHは8.8-9.0、逆反□のpHは6.0-7.0です。

囮害剤 ADPはATPと競合する前方反□の强力な阻害剤です。Ca2+(Ki=4.5 mM)、Zn2+、

Cu2+などの二価カチオンは、Mg2+と競合することによってCKを阻害します。他の阻害剤には、アセテート、アセチルサリチル酸、アデノシン、p-アミノサリチル酸、AMP、ベンゾ酸、重炭酸塩、臭化物、塩化物、p-クロロ水銀ベンゾ酸、エチレンオキシド、2,4-フルオロ二硝基ベンゼン、ヨウ化物、マロン酸、NAD、硝酸塩、リン酸塩、ピロリン酸塩、サリチル酸、硫酸塩、亜硫酸塩、チロキシン、トリクロロ酢酸、L-トリョードサイロキシン、L-トリョードサ

イロニン、及びトリポリリン酸が含まれます。

緩衝液 0.25 M グリシル-グリシン、pH 7.4: 可溶性 5.0 mg/mL、透明、無色からわずかに黄色

単位定義 1ユニットは、pH 7.4、30°Cで、ホスホクリエチンからADPに $1.0 \mu mole$ のリン酸を1分あた

り転送します。

保管・発送情報

保存方法 -20℃